

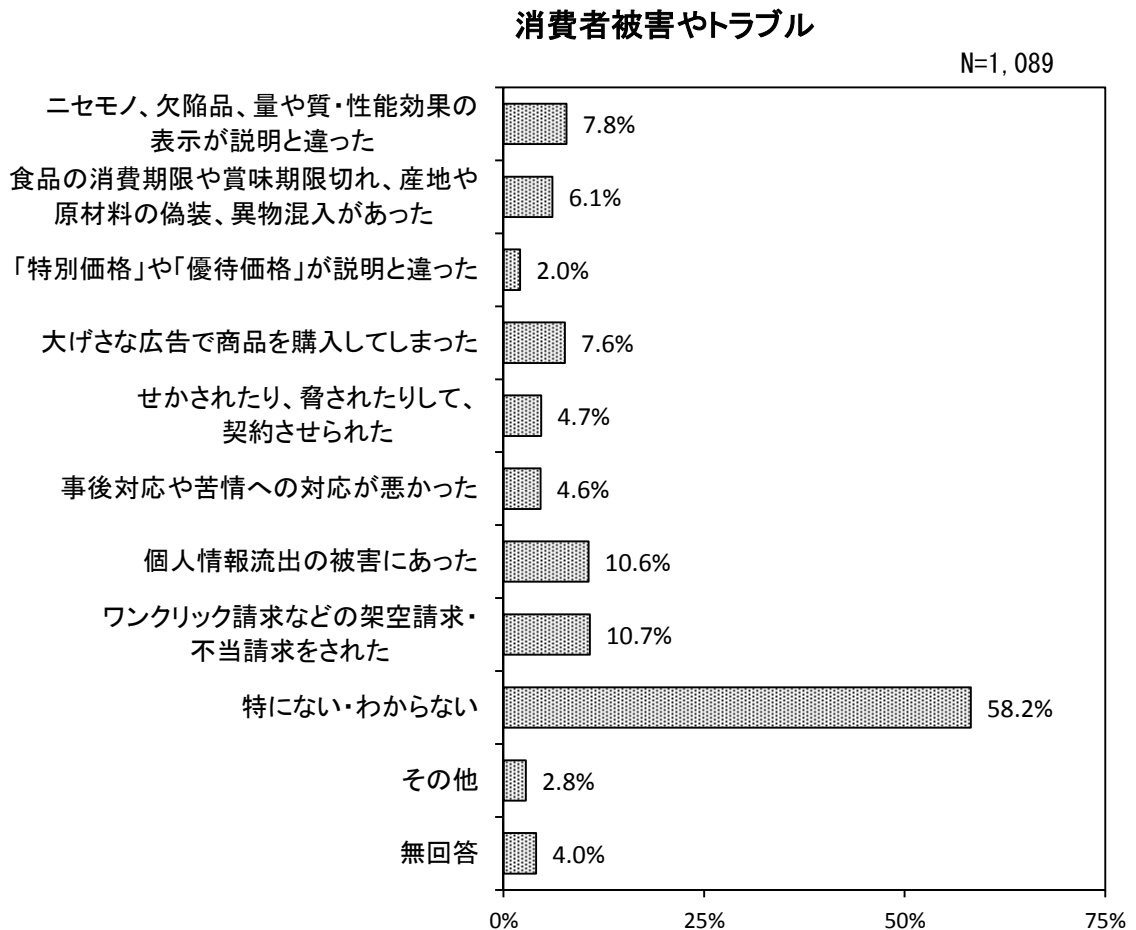
3. サギや架空請求をはじめとする消費者保護について

消費者被害やトラブルへの関心が低いことが分かりました。消費生活センターの認知度を高めるなど、消費者教育の講座、催しに関心を持ってもらえるよう情報提供に努めていきます。

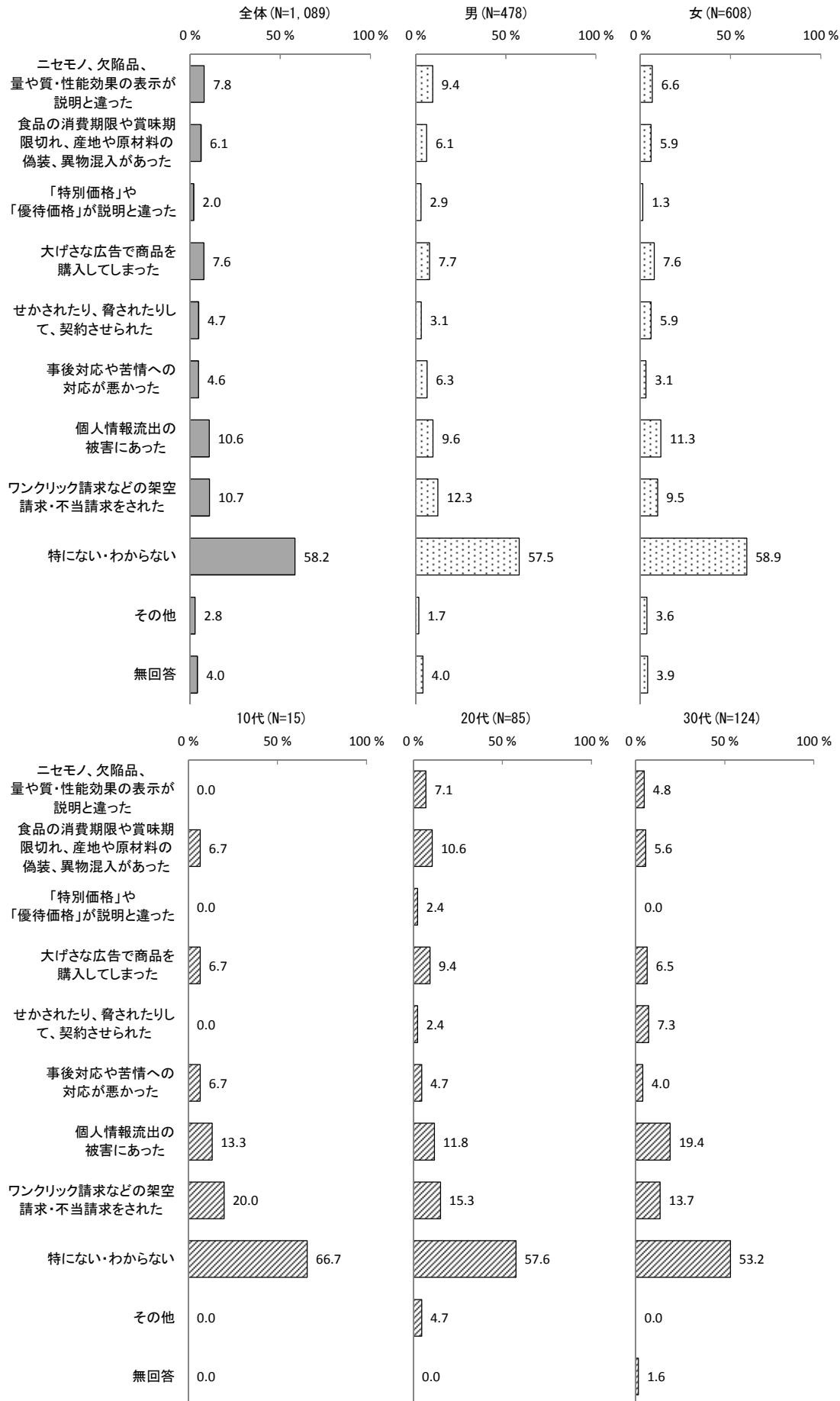
14 体験した消費者被害やトラブル

問 10 あなたやあなたのご家族で、次のような消費者被害やトラブルにあったことがありますか。【複数回答】

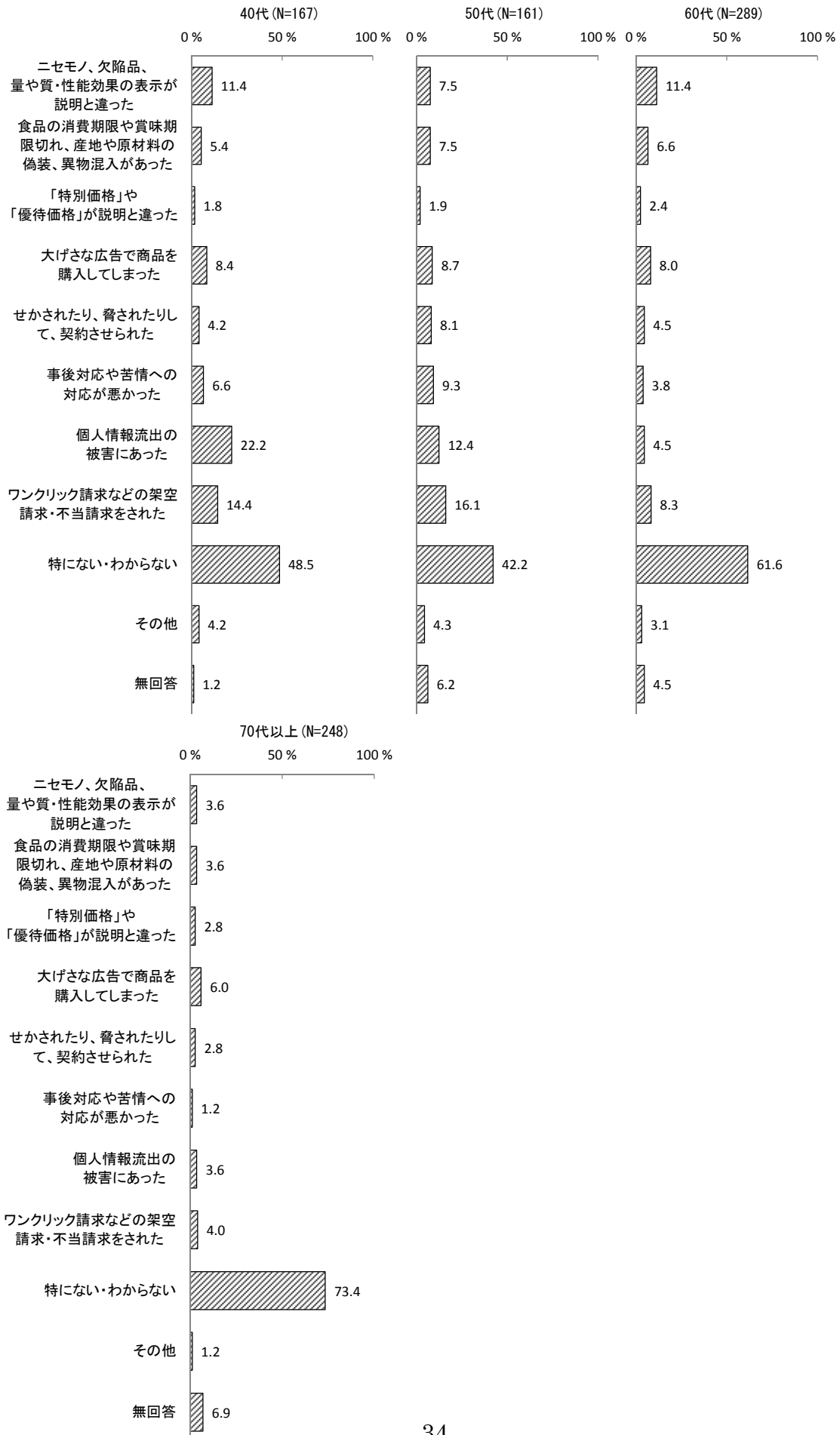
消費者被害やトラブルでは「特にない・わからない」が最も多く 58.2%、次いで「ワンクリック請求などの架空請求・不当請求をされた」が 10.7%となっています。



14 体験した消費者被害やトラブル(性別)(年代別)



14 体験した消費者被害やトラブル(年代別)



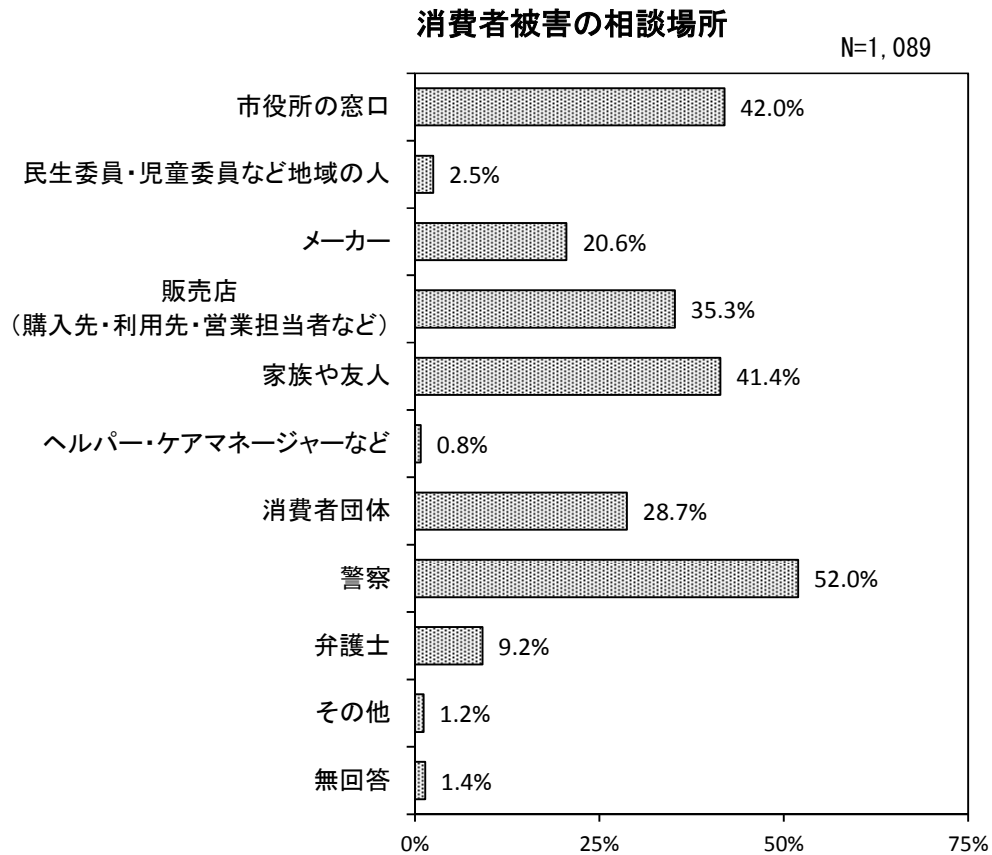
15 消費者被害にあったときに相談する場所

問 11 消費者被害の相談について

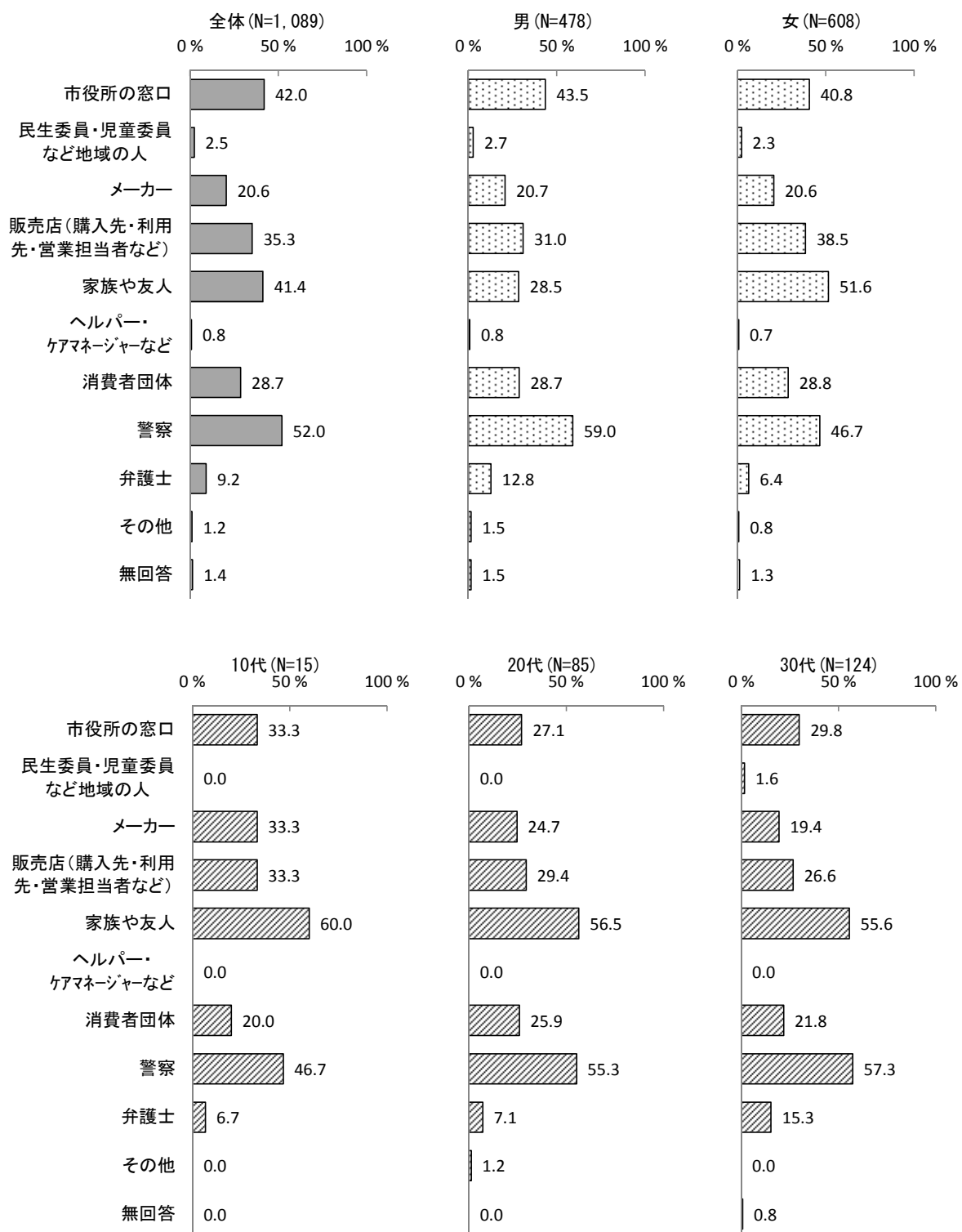
(1) 消費者あなたが消費者被害にあったとき(被害にあったとしたら)、どこに相談しますか。

【複数回答】

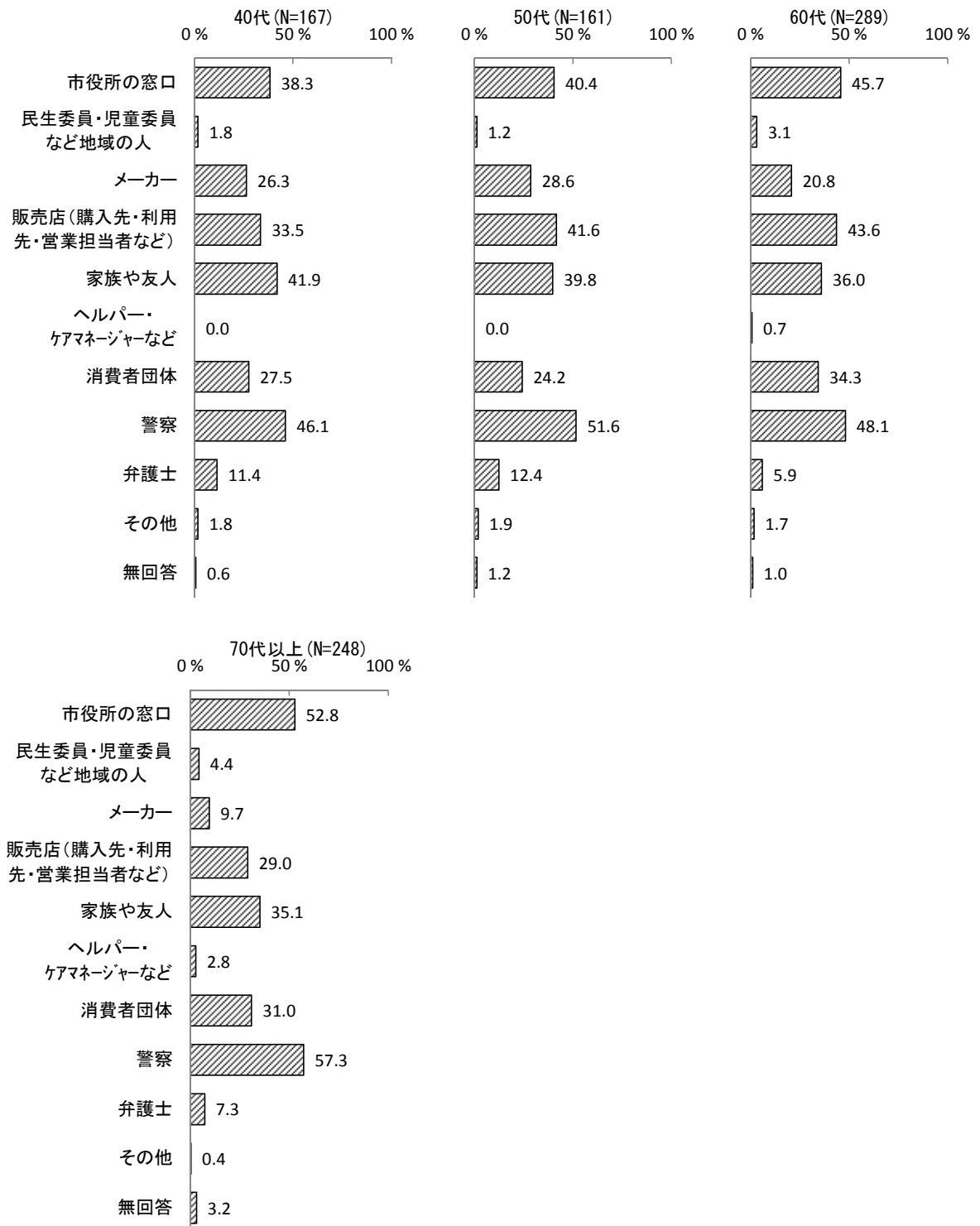
消費者被害にあったときでは「警察」が最も多く 52.0%、次いで「市役所の窓口」が 42.0%となっています。



15 消費者被害にあったときに相談する場所（性別）（年代別）



15 消費者被害にあったときに相談する場所（年代別）

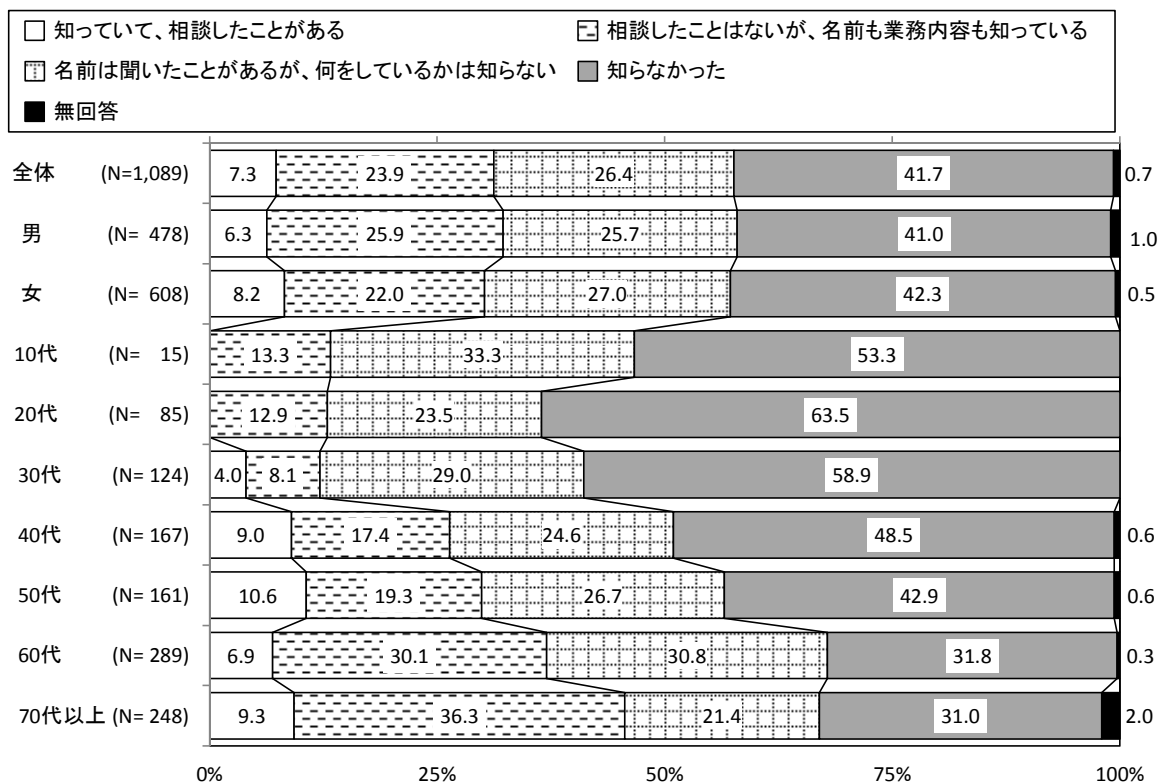
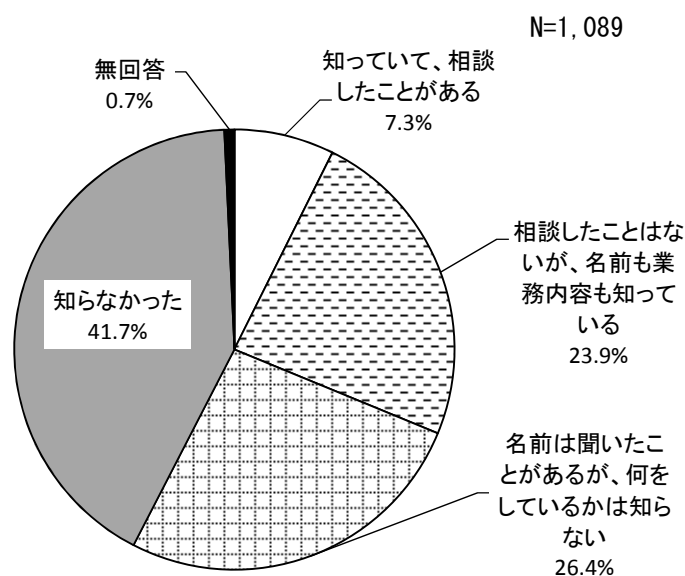


16 「富士宮市消費生活センター」の認知度

(2) 消費者トラブルを相談できる「富士宮市消費生活センター」が、富士宮市役所内にあることを知っていますか。

「富士宮市消費生活センター」を知っていますかでは「知らなかった」が最も多く 41.7%、次いで「名前は聞いたことがあるが、何をしているかは知らない」が 26.4%となっています。

「富士宮市消費生活センター」を知っていますか

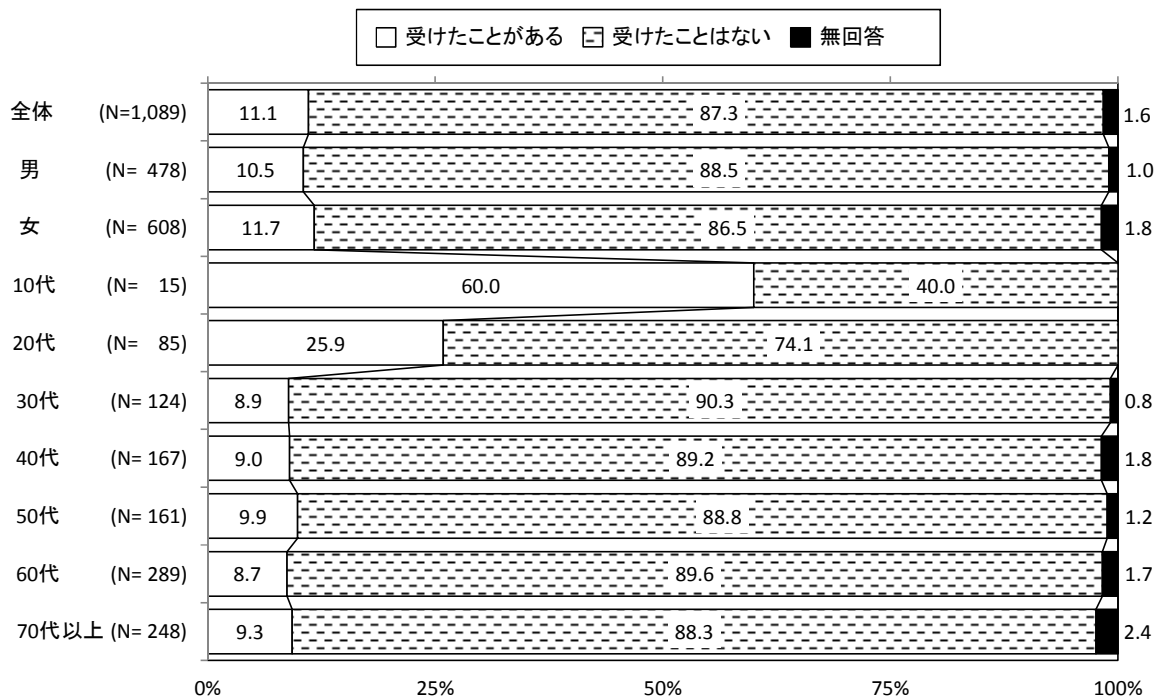
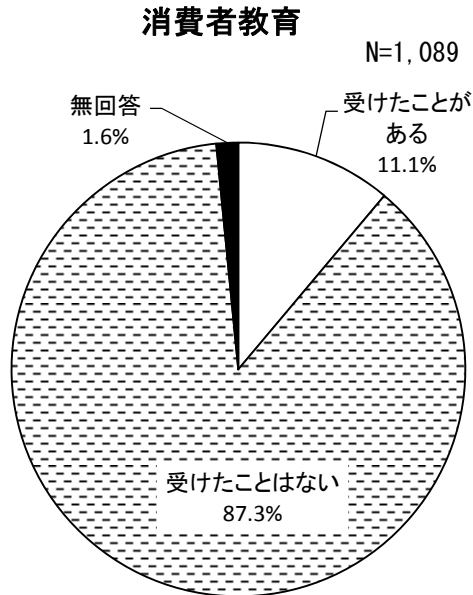


17 消費者教育の受講

問 12 消費者教育について

(1) あなたは、消費者教育（学校や会社で行う講座など）を受けたことがありますか

消費者教育を受けたことでは「受けたことはない」が最も多く 87.3%、次いで「受けたことがある」が 11.1%となっています。



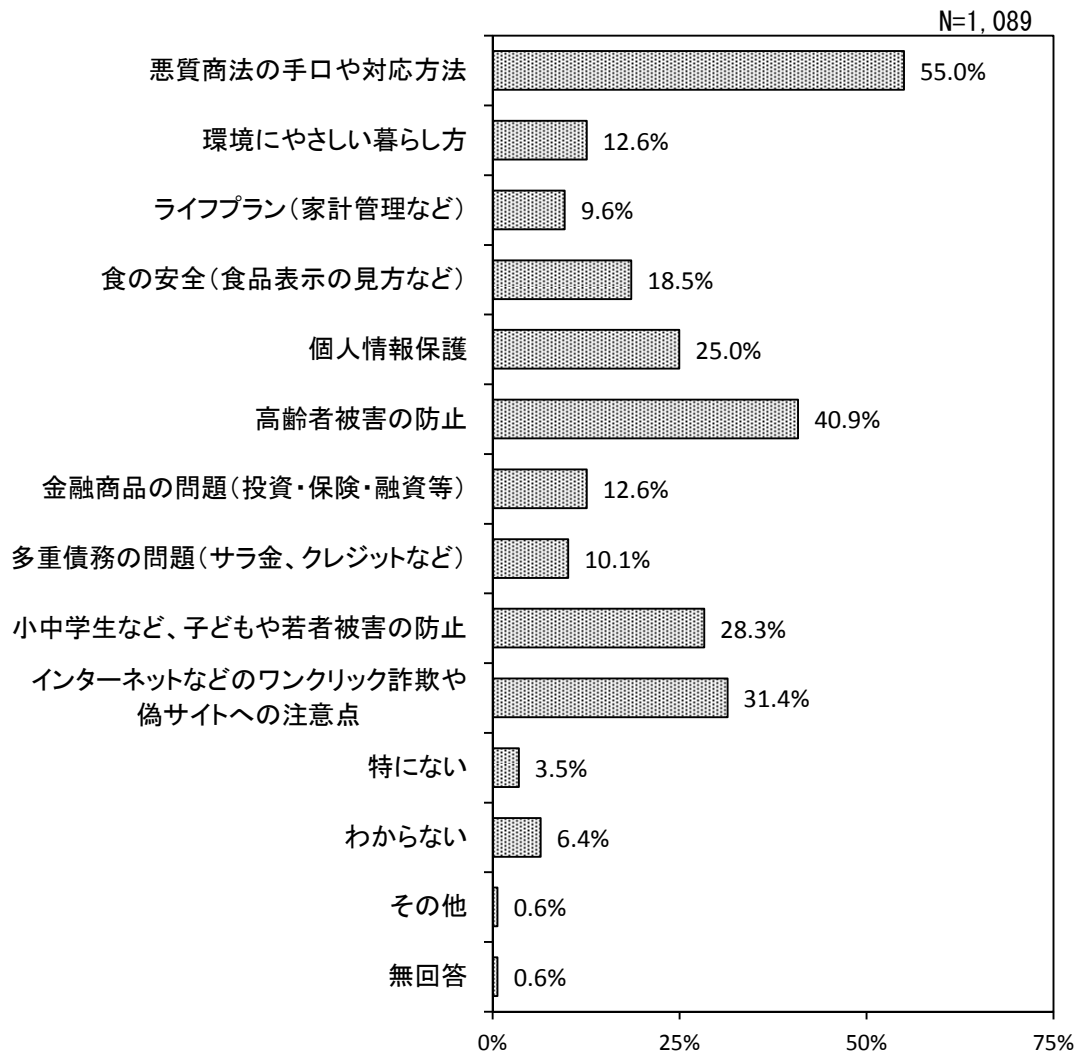
18 力を入れるべき消費者教育

(2) あなたは、消費者教育について、特に力を入れるべきだと思う内容はどれですか。

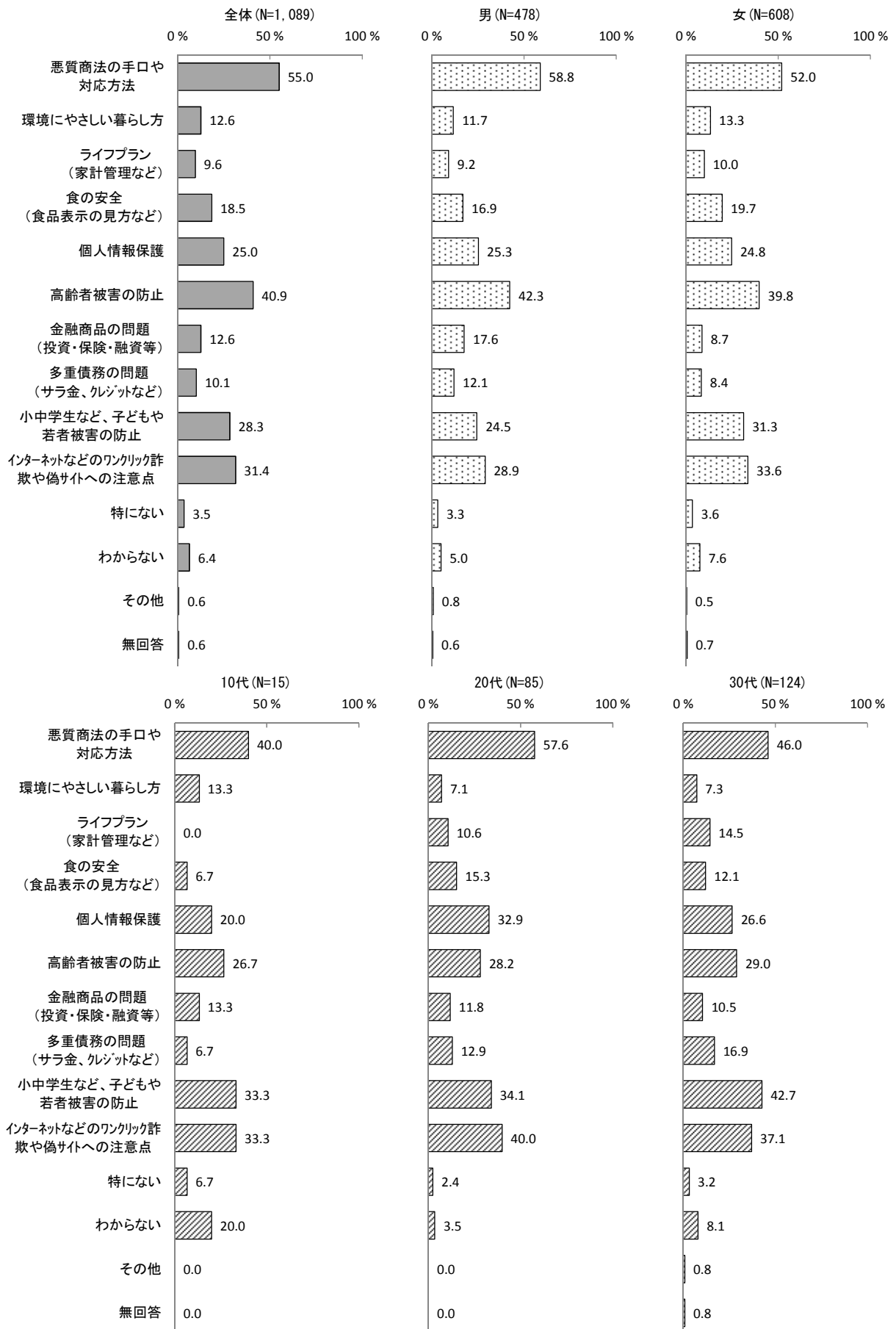
【複数回答】

消費者教育については「悪質商法の手口や対応方法」が最も多く 55.0%、次いで「高齢者被害の防止」が 40.9%となっています。

消費者教育で特に力を入れるべき内容



18 力を入れるべき消費者教育（性別）（年代別）



18 力を入れるべき消費者教育（年代別）

